



りんご生産情報（5月号）

令和3年5月17日
JAつがる弘前
弘前北地区営農係

薬剤散布については、引き続き黒星病重点防除時期となりますので、降雨前散布・適正散布量・散布間隔を徹底するようにしましょう。

また、今月22日頃はふじの満開から2週間後となります。品種構成の半分を占めるふじには、摘果剤を積極的に散布し、効率よく作業を進めましょう！！

《ふじの生態》

管内、ふじの開花日は5月4日と平年に比べ5日程度早く推移し、満開日は5月8日、落花日では5月12日と平年に比べ6日程度早く推移しています。 5月17日現在

場所	年度	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
鬼沢	本年	3/31	4/11	5/5	5/9	5/13
新和	本年	3/31	4/11	5/5	5/8	5/12
三和	本年	3/31	4/10	5/4	5/8	5/13
十腰内	本年	3/31	4/9	5/3	5/8	5/11
農協平均	平年	4/10	4/18	5/9	5/13	5/18
	前年	4/1	4/14	5/8	5/12	5/16
りんご研究所	本年	3/30	4/7	5/3	5/8	5/13

《摘果剤(マイクロテナポン)の散布》

サンふじや葉とらずふじは、5月22日頃(満開後2週間頃)を中心に摘果剤を使用するようにしましょう。効果が判別できるまでおよそ2週間程度かかります。

品種	散布時期	薬剤・倍数・散布量
ふじ	中心果の横径 10 mm前後 (満開後2週間頃)	マイクロテナポン 1,200倍 350ℓ/10a以上 (展着剤加用)
ジョナゴールド	中心果の横径 15~16 mm	



《摘果作業》

摘果作業については、4月中・下旬の凍霜害により、一部ジョナゴールドや王林に結実不良や障害果が見られています。中心果の無い果そうでは、肥大の良い側果を残すようにしましょう。

《薬剤散布》

落花10日後頃の薬剤散布は5月14日頃を中心に実施されました。引き続き、黒星病の重点防除時期となります。降雨前散布・適正散布量・散布間隔を徹底し、適期防除に努めましょう。

回数 (散布量)	散布時期 (散布日)	薬剤名 及び調合順序	倍数	1,000ℓ 当り薬量	防除上の注意		
5 (420ℓ)	落花20日後 (5月24日)	デランフロアブル エルサン水和剤 ネオミクス	1,500倍 1,000倍 250倍	333ml×2本 1kg×1袋 4kg×1袋	・落花10日~20日の期間はクワコナカイガラムシの防除適期です。発生が多いところではアプロード1,000倍を使用しましょう。		
6 (500ℓ)	落花30日後 (6月5日)	ラビライト水和剤 サイアノックス水和剤 ネオミクス	500倍 1,000倍 250倍	1kg×2袋 500g×2袋 4kg×1袋	・黒星病対策として、落花40日後頃までは基準散布の間に降雨がある場合は、降雨前日にチオノックF等の殺菌剤を特別散布しましょう。		
7 (500ℓ)	6月下旬 (6月17日)	【無ボルドー方式】		【ボルドー方式】			
		薬剤名及び混合順序	倍数	1,000ℓ 当り薬量	薬剤名及び混合順序	倍数	1,000ℓ 当り薬量
		オキシンドー水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 カルマツチ	1,200倍 4,000倍 770倍	835g×1袋 250g×1袋 1.3kg×1袋	ICボルドー412 モスピラン顆粒水溶剤	50倍 4,000倍	5kg×4袋 250g×1袋
～ボルドー液散布時の目安～ ①6/20以降 ②毛ぶるい期以降 ③肥大25ミリ以上							